

## 出穂早まる「あきたこまち」は8月1日頃

### 1. 水稻の生育状況(7月17日)現在

あきたこまちの生育は、平年比で草丈99%、茎数95%、葉数-0.1葉、葉色103%で、圃場乾燥が進まないことから「葉色高め」の状態となっており、茎数は6月下旬より日照時間が少ないことから前回の最高分けつ期以降、ほぼ増減が無く「やや少なめ」となっております。

また、あきたこまちの幼穂長から見た出穂期は、平年より3日程度早く『**8月1日頃**』と思われます。現在、中干し中で葉色等、圃場間差が見られますが、以下を参考に今後の管理に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(7月17日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	66.4	66.8	433	456	11.4	11.5	42.9	41.7
(慣行)	64.4		432		11.2		44.0	
(側条へ-ス等)	68.1		434		11.6		42.0	
前年比	103%		94%		0.5 葉		102%	
平年比	99%		95%		-0.1 葉		103%	
たつこもち	64.7	66.5	375	456	11.6	11.5	40.5	44.5
きぬのはだ	61.4	63.0	432	539	12.1	12.0	41.0	40.5
ときめきもち	59.5	61.9	505	489	11.7	11.6	40.2	40.9

### 2. 出穂期予想[17日現在](砂地圃場は3日程度早め)

品種名	幼穂長(mm)		減数分裂盛期	出穂期予想	
	葉耳間長	幼穂長		本年	平年
たつこもち	葉耳間長	-11~10	7月17日	7月27日	7月30日
あきたこまち	幼穂長	0~70	7月22日	8月1日	8月4日
きぬのはだ		0~4	7月27日	8月6日	8月9日
ときめきもち		0~8	7月27日	8月6日	8月9日

#### 《幼穂長と出穂前日数並びに低温に対する強弱》

幼穂長	葉耳間長	出穂前日数	低温に対する強弱
約7cm	-10cm	13日(減数分裂始期)	最も弱い (17℃以下が予想される場合は深水湛水で保温に努める)
約15cm	±0cm	10日(減数分裂盛期)	

### 3. 今後の技術対応

- 1) 倒伏対策 [長稈・葉色値が高い圃場] [畦廻りスポット処理可能]  
過剰生育等により倒伏が心配される圃場は、倒伏防止対策を考慮する必要がありますので、次の薬剤で対応してください。(各1成分)  
(ロミカ粒剤) 出穂前25~10日 [散布量2~3kg/10a]  
(あきたこまち：7月22日頃までが散布の目安)  
(ビビフル粉剤DL) 出穂前10~5日 [散布量3~4kg/10a]  
(あきたこまち：7月22日~7月27日頃が散布の目安)  
(ビビフルフロアブル) 出穂前10~2日 [散布量1,000倍 100% /10a]  
※ラジヘリ対応可 (あきたこまち：7月22日~7月30日頃が散布の目安)

### 2) 減分期追肥

出穂後に穂首が伸長する品種(あきたこまち等)の追肥を行う場合は、各自圃場の生育量・葉色等を確認のうえ、葉色が低下している圃場を主体に追肥を実施してください。減数分裂期に草丈が長く(80cm以上)、葉色値が高い圃場(SPAD値で42以上)では、倒伏の危険性がありますので、追肥を控えてください。

### 3) 病害虫防除

#### ①いもち病

中干し後も葉色値の高い圃場等では、葉いもち病の発生が懸念されますので、穂首及び枝梗への感染を防ぐためにも、圃場内を確認し発生が見えた場合は、つぎの薬剤で早急に防除をしてください。

○未防除・初発生圃場

・コラトップ1キロ粒剤：[1kg/10a、出穂5日前まで]

○発生が多い圃場

※(いもち病・稲こうじ病 同時防除)

・ブラシンフロアブル：[500ml 1,000倍、水100ℓ /10a]

※(ラジヘリ対応)[8倍、800ml/10a、500cc1本で50a散布]

・ビームエイトゾル (5L)

・ブラシンゾル (500ml)：(いもち病・稲こうじ病 同時防除)

#### ②紋枯病

過剰生育の稲(特に畦畔廻等)については、今後の天候(高温)次第で発生が懸念されますので、心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。

出穂5日前まで モンガリット1キロ粒剤・1成分[散布量1kg/10a]

※「紋枯病・稲こうじ病同時防除」：[3日間湛水状態を保つ]

#### ③稲こうじ病

特に幼穂形成期~出穂期の低温・多湿条件で多く発生しますので、心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。前年に発生した圃場については、発生率が高まりますので防除に努めてください。

出穂10日前まで (Zボルドー粉剤DL・1成分)[散布量3kg/10a]

出穂期直後まで (ブラシン粉剤DL：2成分)[散布量4kg/10a]

#### ④斑点米カメムシ類

[あきたこまち 1回目散布時期出穂後10日頃：8月11日前後] (ウンカにも効果)

スタークル 各1成分

[粉剤：散布量3kg/10a]

[液剤：1,000倍で60ℓ/10a、無人ヘリ：8倍で0.8ℓ/10a]

キラップ 各1成分

[粉剤：散布量3kg/10a]

[フロアブル：2,000倍で60ℓ/10a、無人ヘリ：16倍で0.8ℓ/10a]

技術情報は、ホームページ「営農情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming/>にも掲載しております。

(組合員専用ページです。IDとパスワードを入力してください。)

ID：jaogt (半角小文字) パスワード：eino3033 (半角英数文字)